

〔参考二〕 臨時仮名遣調査委員会における文部

書記官の説明

チヨット説明ヲ致シマス、此案ニ就キマシテハ先日ノ御会合ノ節大臣カラ大体ノ御説明ガアリマシタカラ大体ハ無論アレデ御分リニナツテ居ルコトト信ジマスガ、尚ホモウ少シ立入りマシテ私ハ起案者ノコトデアリマスカラ説明ヲ致シタナラバ御参考ニナラウカト思ヒマスガ、稍々詳シク申述ベマシテ尚ホ足ラヌ所ハ御質問等ニ応ジテ申述ベル積リデアリマス、デ此案ハ明治三十三年ニ文部省令ヲ以テ発布セラレマシタルトコロノ小学校令施行規則第二号表ト云フモノ、ソレカラ明治三十八年ノ春ノ高等教育会議ト国語調査会ヘ諮問ニナリマシタトコロノ諮問案、是レハ御手許ヘ差出シテ置キマシタモノデアリマス、ソレカラ其諮問案ニ対シマシテ国語調査委員會ニ於テ御評議ニナツテ答申ニナツタトコロノ案、是レモ御手許ヘ参考トシテ廻シテ置キマシタ、是等ノ案ト同様ノ精神ヲ有ツテ居リマス、大体ノ精神ガ同ジデアリマス、ト申シマスルノハ今日甚ダ複雑デアルトコロノ歴史的ノ仮名遣ノ代リニ成ルベク当代ノ発音ニ一致シタトコロノ仮名遣ヲ用キタイト云フ精神デアリマス、其点ハ從來ノ案ト同ジデアリマス、唯異ツテ居リマスル点ハドウ云フノカト申シマスルト細カイコトハ沢山アリマスガ、主モナル点ガ二ツアルノデアリマス、其一ツハ此案ノ仮名ハ新シクナツテ居リマスルトコロノ仮名

ノ範圍ハ前ノ案ノ範圍ヨリモ縮小シテ居ルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ此案ハ許容ト云フ形式ニナツテ居リマス、即チ新シイ仮名遣ヲ以テ直チニ旧イ仮名遣ニ置換ヘルト云フ訳デナクシテ旧イ仮名遣ト此案ノ新仮名遣ト二ツナガラ並ビ行ハシメルト云フ精神デアリマス、此二ツガ最モ大イナル相違デアリマス、ソレデ其二ツヲ順次説明致シマセウ
第一ニ新仮名ノ範圍ガ縮ツテ居ルト云フコトヲ申述ベマス、仮名ノ用キ方ニシテ今ノ発音ニ一致シナイトコロノモノガアル、ソレガ起リデ斯ウ云フ調ガ出来マスルノデアリマスガ其一致シナイ仮名遣ニ就イテ考ヘテ見マスルト大要二ツノ區別ガアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、一ツハ今日ノ一般ノ国民ノ注意ヲ惹イテ居ル、一般国民ノ意識ニ入ツテ居ルモノトデモ申シマセウカ、其一般国民ノ意識ニ入ツテ居ルモノト又他ノ一ツハ一般ノ国民ノ意識ニ入ツテ居ラヌモノト此二ツガアルヤウデアリマス、ソレデ此案ハ国民ノ意識ニ入ツテ居ルトコロノ仮名遣ハソレハ先ヅ其儘ニシテ置イテ手ヲ着ケマセヌ、唯国民ノ意識ニ入ツテ居ラヌモノト認メマスルトコロノモノヲ新ニスル方針ヲ執ツタノデアリマス、彼ノ巨爾遠波ノ中ノ或種類、「何ハ」トカ「何ヘ」トカ「ハ」「ヘ」デアリマス、或ハ動詞ノ活用カラ起ツテ参リマスルトコロノ「洗ハム」トカ「洗ヒ」トカ「洗フ」トカ「洗ヘ」トカ「ハ」「ヒ」「フ」「ヘ」トナツテ活用シテ参リマス「ハ行」ノ動詞並ニ動詞又ハ形容詞ノ語

尾ノ音便ト云フモノガゴザイマス、例ヘバ「行カム」——「行カム」ト云フノハ口語デ「行カウ」トナリマス、其時ハ「ユカウ」ト書クコトニナリマス、又「トラム」ト云フノハ口語デ働キマスルトキハ「何ヲ取ラウ」トナル、ソレヲ「取ラウ」ト書ク、「取ロウ」ト云フノデナシニ「取ラウ」ト書クノガ是レマデノ規則デアリマス、又「木ノ葉ガ赤ウ見エル」ト形容詞ノ語尾ノ音便デ言フノデアリマス、語尾ノ「赤ク」ト云フ「ク」ガ「ウ」ニナツテ「赤ウ」トナリマス、又「物ガ無クナル」、矢張形容詞デアリマスルガ、其語尾ノ「ク」ノトコロガ音便ノ為ニ「ウ」ニナツテ「無ウナル」ト書ク、ソレガ普通ノ規則デアリマスガ、サウ云フ所ハ一般ノ国民ノ意識ニ入ツテ居ルモノデアアル、普通ノ教育ヲ受ケタトコロノ者ハソレヲ使ツテ参リマス上ニ於テ之レヲ誤マラヌコトガ出来ルノデアリマス、尤モ教育ノ無イ者ハソレハ間違ヘマスケレドモ一通リ教育ノアル者ナラバソレ位ノ規則ハ其人ノ意識ニ入ツテ居ルノデアリマス、所ガ字音仮名遣ノヤウナモノデアリマス、ソレハ字音仮名遣例ト云フモノヲ菟藪版ニシテ御参考ニ廻シマシタ、アレニアリマスルトコロノ區別ノヤウナモノハ非常ニムヅカシイ、マタ国語ノ仮名遣デアリマスガ、ソレハ理由書ニモチヨツト出シテ置キマシタガ、(川)ト云フノハ「カハ」ト書カナケレバナラヌ、(鶯)ト云フノハ「ウグヒス」ト書カナケレバナラヌ、(危)ト云フノハ「アヤフシ」ト書カナケレバナラヌ、(家)ト云フノハ「イヘ」ト

書カネバナラヌ、(顔)ト云フノハ「カホ」ト書カナケレバナラヌト云フトコロノ「ハ」「ヒ」「フ」「ヘ」「ホ」デアリマス、或ハ(扇)ト云フ矢張国語デアリマスガ、アレハ「アフギ」ト書カナケレバナラヌ、(峠)ハ「タウゲ」ト書カナケレバナラヌ、サウ云フ所ノ「アフ」トカ「タウ」ト云フヤウナモノハ字音仮名遣ト等シク余程ムヅカシキモノデアツテ、一般国民ノ意識ニ入ラヌモノデ、特別ノ教育ヲ受ケマシタ者ナラバソレダケノ區別ヲ致シ得ルノデアリマスガ、然ラザルモノハサウ云フヤウナ使用法ヲ間違ヘズニ致ス者ハ極メテ稀レナノデアリマス、デ明治三十八年ノ諮問案即チ高等教育會議ト国語調査委員會ヘ提出セラレマシタトコロノ案並ニ国語調査委員會ガソレニ對シテ答申ヲ致シマシタトコロノ案ハ二ツナガラ何レモ統一ト云フ点ニ最モ重キヲ置カレマシテ、今申上ゲタトコロノ二種ノ區別ガアル、其二種ノ仮名遣ヲ區別ヲシナイデ等シク何レモ発音的ニ改メルト云フ方針ヲ以テ調査ニナリマシタノデアリマス、ソレデソレニハ素ヨリ理窟ノアツテサウ云フ風ニナツタコトデアリマスルケレドモ、併ナガラ今申上ゲマシタ国民ノ意識ニ入ツテ居ルトコロノ部類ノ仮名遣、其方ハ先ヅ一般ノ人ガソレヲ実行シテ居ルノデアリマスカラ今強ヒテソレヲ改メル必要ハナイデハナカラウカ、国民ノ意識ニ入ツテ居リマスルトコロノ仮名遣ハソレヲ仮名文ニ——悉皆仮名文ニ書キマシタ場合ハ素ヨリノコト、又普通ノ文章、即チ漢字

ト仮名ヲ混ヘテ書キマスルトコロノ文章ニ於キマシテモソレハ仮名ノ部分ノ所ニ表ハレルノデアリマス、仮名ノ所ニソレガ出ルノデ漢字ニハ隠レナイノデアリマス、例ヘバ「歌ヲ唄フ」ト言フ「フ」ノ所ハ漢字ニハ表ハレナイデ仮名ノ所ニ出ルノデアリマス、又「物ヲ買フ」ト言ヒマス所ノ「買フ」ノ「フ」ノ所ハ即チ仮名ノ所ニ表ハレルノデアリマスガ、ソノ文章ニ於キマシテ若シソレヲ「歌ヲ唄ウ」ト発音的ニ「ア」「イ」「ウ」「エ」ノ「ウ」ノ字ヲ書キ、或ハ「物ヲ買ウ」ト発音的ニ「ウ」ノ字ヲ使ヒマシタナラバ如何デアリマセウカ、理窟カラハ発音的デ極ク都合ガ好イノデ、習フ上ニモ都合ガ好イノデアリマスガ、唯慣習ノ上カラ考ヘマスルト云フト余程奇妙ニ見エルノデアリマス、所ガ国民ノ意識ニ入ッテ居ラヌトコロノ仮名遣、今申上ゲマシタトコロノ一種ノ所謂ムヅカシイ仮名遣ハ——最モムヅカシイトコロノ仮名遣ハソレガ若シ新シクナリマシタトコロガ平生カラ国民一般ニ注意ヲ惹イテ居ラヌノデアリマスカラ其文章ヲ悉皆仮名文デ書イテ今申ストコロノ仮名遣ヲ悉皆新シク致シマシタトコロガ少シモ奇異ノ感ヲ惹起スヤウナコトハナイノデアリマス、況シテ漢字ト仮名ヲ混ヘマストコロノ普通ノ文章ニ於キマシテハ其意識ニ入ラヌトコロノ仮名遣ハ丁度漢字ノ所ニ当ルノデ、漢字ニ隠レテシマフノデアリマス、サウ云フ仮名遣ヲ改メテモ普通ノ漢字仮名混合文ニ於キマシテハ何等ノ關係ガ無イヤウニ見エルノデアリマス、

普通ノ仮名文ニ於テモ勿論關係ガナイヤウニ見エルノデアリマスガ、漢字仮名混合文ニ於テハ最モ關係ガ無イノデアリマス、サウ云フ所ヲ改メタイ普通ノ漢字仮名混合文ニ表ハレルトコロノ——仮名ノ部分ニ表ハレマストコロノ仮名遣ハ變ヘナイデ置イテ若シモ全部之ヲ仮名文ニ書キ直ストキ今ノ漢字ニ代ハルヤウナ所ヲ改メタイト云フノガ此案ノ精神ノ一ツデアリマス、ソレナラバ普通ノ漢字仮名混合文ニ於テ少シモ關係ガ無イト云フヤウナモノナラバ何モ仮名ヲ改メヌデモ關係ガ無イダラウト云フ御論モアルデアリマセウガ、其処ハ此普通教育ノ方カラ考ヘマスルト非常ニ關係ガアルノデアリマス、前ノ大臣ノ御演説ニモアリマシタガ、小学校デハ初ハ仮名ヲ以テ言語ヲ教ヘマスルノデ仮名ノムヅカシイノハ最モ困ルノデアリマス、ソレデ此案ハ從來ノ案ニ較ベテ見マスルト云フト一層社会ノ習慣、仮名ヲ使用シテ居リマスルトコロノ慣例ニ意ヲ注ギマシテサウシテ立案ヲ致シタモノデアリマスルノデ、国民ノ意識ニ入ッテ居ル所即チ漢字ニ隠レテ居ラヌトコロノ仮名遣ハ成ルベクソレニ手ヲ着ケナイト云フ方針デ調べタノデアリマス、ソレカラ仮名遣ノ問題ト云フモノハ今申上ゲマシタル通り普通教育ノ必要カラ起リマスルノデアリマスルガ、唯教育ノ難シイトカ易イトカ云フトコロノ一点張リカラ申上ゲマシタナラバ總テノ仮名遣ハ発音的ニナツタノガ一番都合ガ好イノデアリマスケレドモ、ソレハ社会ノ慣例

ニ背ク、人ヲシテ奇異ノ感ヲ惹カシムルト云フヤウナコトガ
 アリマスノミナラズ、難シイコトハ難シイガ、一定ノ規則ガア
 ヲツテ働キマスルトコロノ仮名ニナリマスルト云フト、意識ニ
 入ツテ居ルトコロノ仮名ハ比較的ニ記憶スルコトガ容易イノ
 デアリマス、漢字ニ隠レルトコロノ仮名遣ヨリハ比較的ニ記
 憶シ易イガ為ニ是レマデノ通りニ据置イテモ無論多ク差支ハ
 ナイト云フ考デアリマス、是亦仮名遣ノ新シクナルノヲ国民
 ノ意識ニ入ツテ居ラヌモノノ仮名ニ限ツタ所以デアリマス、
 是等ノ理由ニ依リマシテ此仮名遣ノ範圍ハ諸々ノ從來ノ案ニ
 較ベテ見マスルト云フト余程縮小ヲシテ居ルノデアリマス。
 尚ホ此範圍ニ就キマシテ少シク述ベテ見マスルナラバ字音ノ
 方デアリマス、字音ノ方ノ「カ」ト「クワ」、「ガ」ト「グワ」ノ仮
 名、其區別、ソレカラ「ジ」ト「ヂ」ノ區別、「ズ」ト「ヅ」ノ區別
 ハ明治三十三年ノ小学校令施行規則ノ第二号表ニ於キマシテ
 ハ夫等ハ廢メルコトガ本体ニナツテ居リマシテ旧來ノ通り區
 別シテモ宜イ、妨ゲヌト云フコトニナツテ居ツタノデアリマ
 ス、明治三十八年春ノ諮問案、國語調査委員会ト高等教育會
 議ニ諮問ニナリマシタトコロノ案并ニ國語調査委員会ガ答申
 ヲ致シマシタルトコロノ案ニ於キマシテハ何レモ「カ」ト「ク
 ワ」、「ガ」ト「グワ」トノ區別ヲ全廢致シテ居リマス、又「ジ」
 ト「ヂ」、「ズ」ト「ヅ」ノ區別モ、(字音ニ就イテ申上ゲルノ
 デアリマスガ)明治三十八年春ノ諮問案ニ於キマシテハ之

レヲ全廢致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ國語調査委員会
 ノ答申ハドウカト言ヒマスト其点ニ就キマシテハ或特別ノ文
 字、「智」^チ「茶」^{チャ}「中」^{チュウ}、「通」^{ツウ}、「地」^ヂ「治」^ヂ其六字ヲ除キマシテハ總
 テ廢シタノデアリマス、所ガ此案ニ於キマシテハ夫等ノ点ニ
 講究ヲ致シマシタル結果、或地方ノ發音ニハ未ダ斯ウ云フヤ
 ウナ音ガ、東京ニコソナイガ、或地方ノ發音ニハ尚ホ斯ウ云フ
 區別ヲ存シテ居ルト云フ所ガアリマスルカラ先ヅ之レニ觸レ
 ナイコトニ致シタノデアリマス、是レハ此案ノ表ニナイノデ
 アリマスルカラ旧來ノ區別ノ通り區別ヲシナケレバナラヌト
 云フコトニナルノデアリマス、又國語ニ於キマスルトコロノ
 「ジ」ト「ヂ」、「ズ」ト「ヅ」ノ區別、ソレハ從來ノ案デハドウナ
 ヲツテ居ルカト申シマスルト明治三十八年ノ諮問案及ビ國語調
 査委員会ノ答申モ何レモ或取除ケヲ以テ之レヲ廢シタノデア
 リマス、ソレハ二語連合ノ音便、二ツノ語ガ連合シタ場合ニ起
 ルトコロノ音便、并ニ同ジ音ノ連呼ニ依ツテ生ジタル場合ノ
 「ジ」^ヂ、「ズ」^ヅ、「ツ」^ツ、是等ハ從來ノ通り區別ヲシナケレバナ
 ラヌガ、其他ハ廢スルコトニナツテ居リマス、併ナガラ此案
 ニ於キマシテハ「ジヂ」「ズヅ」ハ如何ナル場合ニ於テモ一切之
 レヲ新ニスルコトヲ避ケタノデアリマス、是レモ第二章ノ方
 ニ少シモ見エヌノデアリマス、見エヌノハ即チ旧來ノ通り
 「ジ」ト「ヂ」ヲ區別スル精神デアリマス、總テ此案ハ列記法ノ
 積リデアリマス、此処ニ書イテアルノハ變ヘル、唯類推ヲ以

テ之レヲ他ノ仮名ニ及ボスコトハシナイ積リデアリマス、総
テ以上申シ述ベマシタ理由ニヨリマシテ新シイ仮名ノ範圍ト
云フモノガ此案ニ於キマシテハ前ノ案ヨリハ著シク縮少致シ
マシタ、普通ノ漢字混リノ文章ニ於テ此新シイ仮名ヲ使ツテ
ドウナルカト申シマシタナラバ普通ノ吾々ガ書キマスルトコ
ロノ漢字混リ文ニ於テハ殆ド影響ガナイデアリマス、御承
知ノ通りニ明治十五年ニ下シ給ハリマシタルトコロノ軍人訓
戒ノ勅諭ト云フモノガアリマス、アノ勅諭ハ他ノ勅語等ト
ハ違ツテ居リマシテ余程倭言葉、純粹ノ日本語ガ沢山ニ御用
キニナツテ先ヅ日本のトデモ申シマセウカ、漢文的デナシニ
日本のノ文章ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ随分長イモ
ノデ十行二十字ニデモ書キマシタナラバ十四五頁モアラウカ
ト云フ随分長イモノデアリマス、彼ノ勅諭ニ仮名デ書イテ
アル所ニ此仮名遣ヲ當嵌メタナラバドウカト思ツテ調べテ見
マシタガ、サウシタレバ唯二字ダケ違フノデアリマス、ソレ
ハドウ云フノカト申シマスルト、「祖宗ノ恩ニ報イマキラス
ル事」ト云フ句ガ彼ノ勅諭ノ中ニアリマス、所ガ「報イマキ
ラスル」ト云フ「マキラスル」ト云フ字ガ「参」ノ字デナシニ「マ
キ」ト仮名デ書イテアリマス、其「キ」ガ此案ノ仮名トハ違フノ
デアリマス、此案ノ仮名デハ「イ」ヲ用キルノデアリマスガ其
処ガ違ヒマス、モウ一ツハ「如何ナル嘉言モ善行モ皆ウハヘ
ノ裝飾ニテ何ノ用ニカハ立ツベキ」ト云フ句ガアリマス、此
「ウハヘ」ト云フ字モ矢張仮名デ表ハレテ居リマス、ソレガ

歴史的ニ正シイノデアリマス、所ガ此案デハ「ハ」ト云フノハ
国民ノ意識ニ入ラヌ仮名トシテ新ニナルコトニナツテ居リ
マスルカラ、「ワ」「キ」「ウ」「エ」「ヲ」ノ「ワ」ヲ書クコトニナリ
マス、其二ツダケガ違フヤウデアアルノデアリマス、之レヲ以
テモ此案ハ普通ノ漢字混リ文ヲ吾々ノヤウナ大人ガ書キマス
ル上ニ於テハ何ノ影響ヲモ起サヌ、少シモ普通ノ慣例ニ背イ
タヤウナ感ヲ起スヤウナ場合ガナイト云フコトガ御分リニナ
ルダラウト思フノデアリマス
ソレカラ第二ニ違ツテ居リマスル主ナル点、即チ此案ハ許容
ト云フ形ヲ踏ソダノデアリマス、此許容ト申シマスルコトハ
今ガ初メデナイノデアリマス、是レモ大臣ノ演説ニモアリマ
シタガ、「文法上許容スベキ事項」ト云フモノヲ出シタコトガ
アリマス、是モ御手許ヘ出シテ置キマシタ参考書ノ中ニアル
ノデアリマスガ、彼ノ時ニ許容ノ例ガ開ケテ居ルノデアリマ
ス、丁度此仮名遣ノ問題ニ関シテ矢張彼ノ例ヲ踏ソダ方宜
カラウト云フノデ許容ニ由リマシタノデアリマス、此許容ト
云フ事ニ就イテハ余程論ガアリ得ルカト思ヒマスル、チヨツ
ト其精神ヲ解リ易クスル為メニ或ハ卑近ナ——余リ卑近デハ
アルカモ知レマセヌガ例ヲ以テ申上ゲテ見ヨウト思ヒマスル
ガ、丁度甲ト云フ或土地ガアル、ソレカラ乙ト云フ地ヘ参リ
マス場合ガアルト仮定メタラ宜カラウト思ヒマス、其時ニ昔
カラ一ツノ旧道ガアツタ、所ガ其道ガ嶮シク致シマシテ通行
スルニ不便デアアル、ソレデ何時ノ間ニヤラ別ニ新道ガ脇ヘ出

来マシテ人ガ通ルヤウニナツタ、自然ニサウ云フ道ガ開拓セラレマシタ、其時ニ当局者ガ此新道ハ非常ニ便利デアアル、衆人ガ之レニ由ルトコロカラ其新道ヲ公ノ道路ニ組入レルト云フコトニ想像シテ見タイト思フノデアリマス、其場合ニ特別ノ理由ガアリマシタナラバ格別デアリマスルガ、サウデナカツタナラバ別ニ旧道ヲ歩クコトヲ禁ズルニ及ブマイト思フノデアリマス、特別ノ理由ガアリマスルナラバ新道ノミ通ラセテ旧道ヲ通ルコトハ禁ジタ方ガ宜イカモ知レマセヌガ、サウデナイ以上ハ新旧両道、何レヲ通ツテモ宜イト云フコトニシテ宜カラウト思ヒマス、即チ優勝劣敗ニ依ツテ或ハ旧道ノ方ヲ通ルコトガ少クナツテサウシテ其道ガ大イニ荒廢スルカモ知レマセヌ、ソレハ仕方ガナイノデアリマセウ、併ナガラ旧道ヲ殊更ニ禁ズル必要ハ無論ナイノデアリマス、ソレデ此旧仮名遣ニ対シテ新シイ仮名遣ヲ許容致シマスルノハ丁度旧道ニ対シテ自然ニ起リマシタルトコロノ新道ヲ認メル、公認ノ道路ト認メル關係ニ能ク似テ居ルカト私ハ思フノデアリマス、素ヨリ旧道デナケレバナラヌ、或ハ旧仮名遣デナケレバナラヌト云フコトデアリマスルナラバ何処マデモ新道、新仮名遣ヲ撲滅スルノデアリマスガ、サウデナイ以上ハ別ニ旧仮名遣、即チ衆人ニ不便ナ仮名遣ヲ墨守スルニモ及ブマイト考ヘマシテ新仮名遣ヲ公認スルノデアリマスカラ旧イ仮名遣ヲ使フト云フコトヲ別ニ禁ズルニモ及ブマイ、自然ノ勢ニ任セ

テ置イタナラバ宜カラウト云フ考デアアルノデアリマス、ソレカラ其新仮名遣ガ公認セラレマシタル以上ハ、一般ノ人ガ矢張教科書デモ拵ヘル人ハ皆ソレヲ歩イテ宜イカ、世間ノ文学ニ係ハル人ハソレハ無論勝手次第デ旧道ヲ歩カウトモ新道ヲ歩カウトモ勝手次第、其通り教科書等ヲ書キマスル者ハ無論差支ナイト云フコトニ致シマス、ノミナラズ文部ノ当局者ト雖モ矢張従来ノ歴史的ノ仮名遣ノ束縛ヲ今日マデ受ケテ居ツタノデアリマスガ一度許容ノ方ガ出マシタル以上ハ教育上ノ便利ノ上ヨリ致シマシテ其新シイ仮名遣ヲ使用シタイト云フ見込デアリマス、即チ此新シイ仮名遣ニ拠ツテ教科書ヲ書クト云フコトニ致シタイ、民間カラ出マスルトコロノ教科書デアリマスカラバソレハドチラデモ宜シウゴザイマスガ、教育ノ便利ヲ計ツテ國語ヲ發展セシメタイト云フ考ヨリ殊ニ教科書ヲ自ラ書キマスルノデアリマスルカラ新シイ仮名遣ヲ用キル積リナノデアリマス、或ハ許容ト申シマスルト即チ許スト云フノデアアルカラ別ニ正シイ道ガアルノデアラウ、ソレナラバ正シイ道ヲ踏ンデ矢張教科書ヲ書イタラ宜カラウト云フヤウナ御論モアルカトモ思ヒマスルガ、是レハ斯ウ云フ仮名遣ノヤウナ問題ニ就キマシテハ倫理学上ナドデ申シマスルトコロノ正邪トカ善トカ惡トカ云フトコロノ論法ヲ以テ見ルベキモノデハナイト思フノデアリマスル、唯歴史的ノ是レマデノ仮名遣ト云フモノガ

アル、ソレニ対シテ新シイ仮名遣ガ起ツテ其方ヲ許ス、恰モ今申上ゲタ通り旧道ガアツタ、ソレニ対シテ新道ガ出来、新道ヲ通行スルコトハ勝手デアルト云フ風ナノト同ジコトデ別ニ一方ハ正デアツテ一方ハ邪デアルト云フヤウナモノデハナイト思フノデアリマス、是レハ独り仮名バカリデハアリマセヌ、詰リ斯ウ云フ旧道ニ対シテ新道ガ起ルト云フヤウナ關係ガ仮名遣ニ就イテ起リマスルヤウナ事柄ハ別ニ仮名バカリニ就イテサウ云フコトガ起ル訳デハナイト思フノデアリマス、私ハ極ク不案内デアリマスルガ、漢字ナドデモ矢張字体ト云フモノガ種々ノ變遷ヲ致シマシテ或ハ省字トカ或ハ通用字トカ或ハ俗字トカ種々ナ字体ガ起ツテ居ルノデアリマス、其通用字、省字、俗字ノ如キモノヲ使ツテ、ソレモマルデ無制限ニ使フト云フコトハ往カヌノデアリマセウ、或制限ノ下ニ通用字、俗字、省字ヲ使フト云フコトハ差支ナイコトニナツテ居ルヤウデアリマス、是レハ日本ノミナラズ漢字ノ本家デアル所ノ支那ナドニ於キマシテモ矢張斯ウ云フ字ハ使ツテ居ルヤウデアリマス、一厘、二厘ト云フ「厘」ノ如キハアレハ偽字デアツテ本統ハ未ト云フ字ヲ書イテ其脇ニ父ノ字ヲ書イテ其下へ普通ノ厘ノ字ヲ書クノガ本統デアルト云フヤウニ私ハ承ツテ居ルノデアリマスガ、矢張政府モ一厘ノ(釐)ノ字ハ簡易ナ(厘)ノ字ヲ用キテ居ルノデアリマス、一般ノ人ガソレヲ用キテ殆ド本体ノ難シイトコロノ釐ノ字ハ知ラヌト云フコト

ニナツテ居リマス、(萬)ト云フ字モ(万)ヲ使ツテ差支ナイヤウニ一般ガナツテ居リマス、漢字ナドニモサウ云フ風ニ變遷ガアツテソレガ一般ニ認メテ居ルトコロデス、仮名ニ就イテモ矢張サウ云フ變遷ヲ認メマシテ発音ガ變ツテ来——變ツテ来タニ依ツテソレニ対スルトコロノ仮名遣ガ起ツタノデアリマスカラ、ソレハ同ジニ見テモ差支ハナイカト思フノデアリマス、詰リ従来ノ案ハ旧イ仮名遣ニ対シテ新シイ仮名遣ヲ開キマスルト同時ニ旧イ仮名遣ノ使用ヲ一切禁ジタヤウナ形ニナツテ居ルノデアリマスガ、此案ハ新仮名遣ヲ起スト同時ニ新旧兩仮名遣共ニ何レモ正シキモノトシマシテ併立セシメ自然ノ淘汰ニ任セヨウ、ドチラヲ使ツテモ宜イト云フノニ過ギナイノデアリマス

是レデ此案ガ従来ノ案ニ異ツテ居ルトコロノ二ツノ主モナル点ヲ申上ゲタ積リデアリマスガ、尚ホ従来ノ案ノ中デモ国語調査委員会ノ方針ト違ツテ居ル一ノ点ガアリマス、彼ノ三十八年ノ諮問案トハ違ヒマセヌ、調査委員会ノ答申ト違ツテ居リマス点ガ一ツアリマスカラソレヲ申シマス、ソレハ此答申ノ方ニ依リマスルト云フト字音仮名遣ノ方ハ文語ニモ口語ニモ均シク使フコトニナツテ居ル——適用スルコトニナツテ居リマス、所ガ国語仮名遣ノ方ダケハ口語ノ文章ニ限ツテ適用スル、文語ノ文章ニハ適用シナイト云フコトニナツテ居ル、是ニモ勿論理由ノアルコトデアルト認メルノデアリマスケレ

ドモ、併シ万止ムヲ得ナイトコロノ事情ガナカッタナラバ此
 国語仮名遣ト雖モ口語文語共ニ同一ノ仮名遣ニ致シタイト考
 ヘルノデアリマス、文語体ノ文章ト云フモノハ最早廢滅ニ向
 フト云フヤウナ場合デアリマシタナラバ、ソレハサウ云フ文
 章ニハ旧イ仮名遣ヲ使ツテ置イテ差支ナイノデアリマセウケ
 レドモ、今ノ形勢ヲ觀テ見マスルト云フト口語体ノ文章ハ段
 々拵ツテ参リマスト同時ニ文語体ノ文章モ是ニハ種々變遷ハ
 アリマスルケレドモ段々耳ニ近イ文章ニナツテ居ルコトハ事
 実デアリマスガ、尚ホ盛ソニ行ハレテ居ルノデアリマス、ソレ
 ガ為ニ文語体ノ文章ヲ矢張讀ミ書キラスルコトヲ小学校時代
 ヨリシテ教ヘナケレバナラヌコトニナツテ居リマス、所ヘ口
 語ノ方ハ新仮名遣ヲ用キル、文語ノ方ニハ旧イ仮名遣ヲ用キ
 ルト云フコトハ一ノ言語ニ對シテ二様ノ仮名遣ヲ充タスコト
 ニナリマシテ非常ニ複雑ニナラウカト思フノデアリマス、此
 複雑ト云フコトニ関シマシテハ昨年ノ春貴族院カラ仮名遣ニ
 對シテ建議ガアリマシタ、其際ニ其建議ノ賛成者カラモ御批
 難ガアツタヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレデサウ云フ御意
 見ヲモ参酌ヲ致シマシテ此案ハ口語ニモ文語ニモ国語仮名遣
 ヲ用キル、恰モ口語ニモ文語ニモ字音仮名遣ヲ用キルト同様
 ノ遣リ口ニ致シタイト云フ考デアルノデアリマス、ソレガ国
 語調査委員会ノ答申ニ違フ緊要ナル点デアリマス
 此仮名遣ノ問題ハ詰ル所ハ大臣ノ御演說ニモ縷々アリマスル

ガ、普通教育ノ利害カラ起ツタコトデアリマシテ、是ニハ夙
 ニ当局者等ニ於キマシテモ氣付イテ居ルコトデアアルノデアリ
 マス、ソレデ今日御手許ヘ井上毅氏ノ「問目一則」ト云フトコ
 ロノ御意見書ヲ配付ヲ致シテ置キマシタ、是ハ井上サンガ丁
 度文部大臣ノ御在職中デアツタト思フノデアリマスガ、自ラ
 筆ヲ執ツテ御記シニナツタモノト思フノデアリマス、サウシ
 テ時ノ国学者ニ御相談ニナツタモノデアアル、彼ノ梧陰存稿ト
 云フ書物ニモ収メテアルノデアリマス、井上大臣ハ国文ノ発
 達ト云フコトニハ最モ思ヲ凝ラセテ力ヲ致サレタトコロノ御
 方デアアル、国ヲ憂フルト云フトコロノ至情ヲ以テ誠心誠意ニ
 仮名遣ニ就イテ御考ニナツタ次第デアアルノデアアル、ソレハ
 「問目一則」ト云フ文章ヲ見ルト云フト窺フコトガ出来ルト思
 ヒマス、此御意見ハ大体ニ於テ正鵠ヲ得テ居ルモノト信ズル
 ノデアリマス、尚ホ文部省ヨリ致シマシテ嘗テ吏員ヲ派遣致
 シマシテ学校ニ就イテ仮名遣ノ成績ヲ調べタコトガアリマ
 ス、サウシテソレヲ版ニ致シマシタモノガアリマス、今日ハ
 其印刷物が予備ガアリマセヌノデ今印刷中デ配付スルコトガ
 出来マセヌノハ残念デアリマスガ、次回迄ニハ御覽ニ入レヨ
 ウト思ヒマス、仮名遣ガ如何ナル程度マデ学生ノ頭腦ニ入ッ
 テ居ルカト云フコトヲ調べタモノデアリマス、唯二三ノ例ヲ
 取摘ンデ申上ゲマシタナラバ斯ウ云フ結果ニナツテ居ル、ソ
 レデ九州ノ熊本県ノ中学校デアリマス、余程立派ナ中学校デ

アリマス、其中学ノ二年生デアリマスガ、「ヲトトシ」ト云フ言葉ヲ仮名で書表ハサシメタ、「一昨年」ト書クノデハナイ、「ヲトトシ」ト仮名デ書イテ見ヨト云ウテ試験ヲサシタ、所ガ「ヲトトシ」ノ「ヲ」ヲ誤マル者が百人ノ中八十七人アツタ、唯十三人ダケハ「ヲ」ヲ正シク書キマシタ、アレハ「ワ」「キ」「ウ」「エ」「ヲ」ノ「ヲ」デナケレバナラヌノデアリマス、其「ヲ」ヲ書イタ者が百人ノ中十三人ニ過ギマセヌ、八十七人ハ誤ツタノデアリマス、ソレカラ顔ノ皺^{シヅ}デアリマス、是レモ簡單ナ言葉デアリマス、「シワ」ハ「ワ」ト書イテ「ハ」ト書イテハ往ケヌノデアリマス、彼ノ「ワ」ヲ誤マル者が百人ノ中三十九人アツタノデアリマス、頭ノ額^{ヒタヒ}デアリマス、「ヒタヒ」ノ終リニアリマスルトコロノ「ヒ」デアリマス、アレハ「イ」デナクシテ「ヒ」ノ字ヲ書カナケレバナラヌ、其「ヒ」ヲ書カナカツタ者が百人ノ中五十八人アリマス、又「急用」、極ク普通ノ語デアリマス、「急用」ヲ矢張仮名デ書カシタトコロガ百人ノ中百人トモ此「キフ」ト云フ仮名ヲ書クコトガ出来ナカツタノデアリマス、御承知ノ「急」ト云フ字ハ是レハ字音デアリマス、「キウ」ト書イテモ誤デアルシ、「キユウ」ト書イテモ往ケズ、「キフ」ト歴史的仮名遣ニ依ツテ書クヨリ外ハナイ、所ガ「キフ」ト書イタ者が百人ノ中一人モナカツタノデアリマス、又毎日親炙シテ居ル教師、其言葉ヲ仮名デ書カセマシタトコロガ、之レヲ本統ノ仮名遣ノ通り「ケウシ」ト書イタ者が百人ノ中八十一人ハ

誤ツテ十九人ノミガ「ケウシ」ト本統ノ仮名遣ヲシタ、ソレカラ御承知ノ東京高等師範学校ノ附属小学校、アレハ先ツ全国ノ模範小学校ニナツテ居ルノデアリマス、是レモ仮名遣ノ成績ヲ試験致シマシタ、其結果ヲ印刷シテ御配付スル積デアリマス、其試験ニ依リマスト云フト丁度尋常科ノ生徒ガ二百七十人、高等科ノ生徒ガ百五十六人ニ就イテ試験ヲ致シタノデアリマス、其成績ヲ見マスルト「オホキナ」ト云フ言葉ヲソレヲ仮名デ正シク書クコトノ出来ナカツタ者が尋常科ノ生徒百分比例デ百人ノ中二十八人アリマシタ、又高等科ニ於テハ四十二人書クコトガ出来ナカツタ、ソレカラ「絵」デゴザイマス、「絵」ハ「エ」ト書カネバナラヌノガ、ソレヲ書クコトノ出来ナカツタ者が尋常科ニ於テ百人ノ中四十人、高等科ニ於テ三十八人アツタノデアリマス、ソレデ斯ウ云フ現象ト云フモノハ若シ西洋デアツタナラバドウカト考ヘテ見マスルニ西洋ノ中学二年デアツテ教師ト云フ「チーチャー」ト云フ、其「チーチャー」ト云フ字ヲ綴レナイ者がドレダケアルカト思フト恐ラクハ中学二年ニナツテ「チーチャー」ト云フ綴リガ出来ヌモノハ殆ド一人モナイダラウト思ヒマス、又日本ノ中学生ニ致シマシテモ二年生ニモナツタナラバ「チーチャー」位ノ字ヲ綴レヌコトハナイダラウ、或ハ良イ学校デアツタナラバ一人モ間違ハズニ綴レルト思ヒマス、又西洋ノ小学ニ致シマシテ、其生徒ガ普通ノ「絵」ト云フ字、西洋ノ「ピクチュア」ト

ノ漢字ヲ以テ書クコトニナツテ居リマスカラソレデ「タヒ」ノ
仮名遣ヲ忘却シタモノダラウト思ヒマス、(後略)

云フ字デモ或ハ「大キイ」ト云フ西洋語デモ書キ得ナイ者ガド
レダケアリマセウカ、恐ラクハ極メテ少数デソナ字ハモウ
小学ヘ入ツテ二三年経ツタナラバ間違ヘズニ綴レルダラウト
思フノデアリマス、然ラバ西洋ノ教育法ガ良クシテ本邦ノ教
育法ガ宜シクナイカ、ソレガ為ニ教授法ガ悪イカラ斯ウ云フ
仮名ガ書ケヌト云フ訳デアルカト思ヒマスルニサウデモナ
イ、是レハ矢張日本ノ仮名遣ト云フモノガ特別ニムツカシイ
カラ書ケヌノデアラウト思フノデアリマス、唯仮名遣ノムツ
カシイト云フコトヲ証明スル点ニナルダラウト思ヒマス、ソ
レデ高等師範附属ノ成績ニ就イテ最モ奇ナル現象ガ一ツアリ
マスルガ、ソレハ魚ノ鯛デアリマス、アレハ「タヒ」ト書カナ
ケレバナラヌ、「タヒ」ト云フノハ尋常一年ノ生徒ガソレヲ書
キマスル場合ニ誤ツタ者ガ八十七人アル、十三人ダケハ「タ
ヒ」ト書イタノデアリマス、所ガ八年ノ教育ヲ経タモノ高等
四年ノ生徒ニ書カシメタ結果ハ百人ガ百人「タヒ」ト綴レ得タ
モノハナカツタノデアリマス是亦ドウ云フ訳デアルカ、マル
デ事実顛倒スルヤウナコトデアリマスガ、是レハ説明ガ容易
イト思フ、即チ尋常一年デハ書物ニ仮名デ「タヒ」トアルノデ
ス、或ハ先生ガ殊更ニ教ヘタトカ、兎ニ角仮名バカリデヤル
時代デアリマスカラ「タヒ」ト云フ言葉ヲ先ヅ少数ナガラ書キ
得タノデアリマス、所ガ高等科ニナツテ見マスト始終漢字ヲ
使ツテ居ルカラ「タヒ」ナドト云フ字ハ仮名デ書カナイデ普通